

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	山都町役場		代表者名	山都町長 梅田 穰	
担当者部署	税務住民課		連絡先電話番号	0967-72-1214	
担当者役職	主査	担当者氏名	田中 秀穂	連絡先E-mail	
住所	861-3592 熊本県山都町浜町6番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	令和6年1月29日開催の勉強会（幹部職員向け講演）に向けて、本町における取組状況と態勢の質について説明を行い、情報共有を行いました。また、勉強会出席予定者（役職）の聞き取りや、幹部職員に説明していただく内容について調整していただき、課題・問題意識も図ることができました。
アドバイザーへの要望事項	なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年12月14日	支援・助言	有	令和5年12月14日	1097
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年1月22日	支援・助言	10時00分	11時00分	0
				活動時間（分）	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	税務住民課、企画政策課	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	窓口業務改革を行うためには、職員のマインドチェンジを行う必要がある。そのため、勉強会を開催し、職員の意識共有を図るとともに、リーダーとなるキーパーソンを巻き込む必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	窓口業務改革を実施するため、勉強会を開催することで職員の理解を深めるとともに、目標に向けて共通した認識を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	次回の勉強会に向けての情報共有と課題・問題意識を図るため、聞き取りを受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	勉強会の具体的なイメージができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 勉強会開催に伴う調整のため、今回はない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	先進自治体の事例を聞き、窓口業務改革を促進させるとともに、ICT機器導入による「業務の効率化」と「住民サービスの向上」を目指す。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

